

第2回定例会 9月議会



今年11月の全国豊かな海づくり大会開催に合わせて復元整備された旧波門崎燈籠堂(明石港旧灯台)

物価高騰に苦しむ非課税世帯等へ

5万円給付のための補正予算を可決

急激な収入低下世帯も対象に

令和4年第2回定例会9月議会が9月6日から10月12日まで開かれました。明石市市税条例等の一部を改正する条例制定の
ことなど議案11件を可決・同意、報告9件を了承、請願1件を
採択しました。また、令和3年度決算のうち一般会計歳入歳出
決算を不認定とし、特別会計・企業会計決算12件を認定しました。

10月12日の本会議では、
電力・ガス・食料品等価
格高騰緊急支援給付金給
付のための令和4年度一
般会計補正予算(第6号)
を全会一致で可決しまし
た。

同事業は、電力・ガス・
食料品等の価格高騰によ
る負担増を踏まえ、特に

家計への影響が大きい低
所得世帯に対し、1世帯
当たり5万円を給付する
ものです。対象は、令和
4年度分の住民税非課税
世帯および4年1月から
12月までの間に急激な収
入低下により、直近の収
入が住民税非課税世帯の
水準にあると認められる
家計急変世帯で、3万8
千世帯を見込んでいます。
予算額は19億9890万
円で、財源は全額が国か
らの補助です。11月中旬
に対象となる住民税非課
税世帯に確認書を送付し、
返送のあった世帯から順
次支払いを開始すると
もに、家計急変世帯の申
請受付を開始する予定で
す。

市民および議員への暴言 怒りに任せた許されない行動 今限りで政治家を引退

10月12日の本会議では、
市内小学校の記念式典会
場における泉市長の暴言
について、緊急質問が行
われました。

10月8日の式典会場で
市長が、まちづくり協
会役員に対して、おまえ
来年の選挙しらんぞ、応
援せんぞ、覚えておけよ
と発言したほか、式典に
出席していた市議会議員
には、おまえ問責決議に
賛成したら許さんからな
覚えておけよと顔の前ま
で近づき3度恫喝し、市
議会議長にも、おまえ問

責決議を出しやがって、
おまえら選挙で落とした
からなと民主主義を否
定し、脅迫ともとれる発
言や振る舞いをしたと聞
いているが、それぞれの
発言は事実なのか。事実
であれば、市長の発言の
認識とその意図を聞きた
いと質問がありました。
市長からは、暴言を吐
いたのは事実である。私
が暴言を吐いた3人の方
と多くの市民を裏切って
しまったことについて、
おわびを申し上げたい。
発言については、言った
言葉は覚えていないが、
怒りに任せたいきなり
ことで、言葉の前身に意
味はない。過去の件から
も暴言を吐くことは許さ
れないことである。責任
をしっかりと取りたいと
現在の任期満了をもって
政治家を引退したいと考
えていると答弁がありま
した。

副市長を選任

横田氏と佐野氏

前副市長2人が任期途
中の令和4年3月31日付
で退任し、同年4月1日
から空席となっていた副
市長に横田秀示氏(59歳・
明石市)と佐野洋子氏(57
歳・明石市)を選任する
ことに同意しました。

横田氏は、昭和62年か
ら明石市に奉職され、総
務部職員室長、政策局企
画部長、政策局長などを
歴任しています。

佐野氏は、昭和63年か
ら明石市に奉職され、こ
ども総合支援部長、こ
ども局長、明石こどもセン
ター所長などを歴任して
います。両氏は令和4年
4月から統括理事を務め
ていました。

本市の副市長は2人制
で、任期は令和4年9月
28日から4年間です。

も
く
じ

2 市政を問う 18人が登壇
質疑・一般質問

5 今年度の重点的な取り組みは
委員長に聞く

6 決算審査特別委員会
令和3年度一般会計決算を不認定

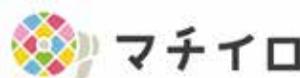
7 議員よもやま話

8 先進的な取り組みを視察
委員会の行政視察

9 明石市議会の取り組みは
全国豊かな海づくり大会兵庫大会

10 夏休み親子で議会体験ツアーを開催

12 各議員の議案等に対する賛否を掲載
議案の賛否一覧



市議会だよりを
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロード
が必要です。

